

野菜の需給・価格動向レポート(平成27年10月27日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	9月の価格情報		10月の価格情報		11月		生育及び価格の11月上旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準		
	(参考) 保証基準額の算定となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売単価	(参考) 保証基準額の算定となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売単価	(参考) 保証基準額の算定となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売単価				
葉菜類	キャベツ	74.19	134 (181%)	74.19	134 (181%)	122 (164%)	72.93		<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、夜温が低いため結球進度が遅く小玉傾向となっていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉産は、9月中旬までの天候不順の影響により、生育に遅れが見られ、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は最近の天候に恵まれていることもあり、平年並みの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年並みと見込まれるものの、群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は、平年に近づくとともに、引き続き平年を上回って推移する見込み。 	
		88.91	140 (157%)	88.91	136 (153%)	128 (144%)	76.91			
	たまねぎ	76.15	76 (100%)	76.15	73 (96%)	68 (89%)	76.15		<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、収穫が終了し、選別・調製を経た計画的な出荷となるが、生育期に天候に恵まれ順調な生育であったことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。 	
		76.15	77 (101%)	76.15	73 (96%)	69 (91%)	76.15			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	273.33	337 (123%)	240.04	299 (125%)	274 (114%)	240.04		<ul style="list-style-type: none"> 青森産は、病害の発生も特段なく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。秋田産は、作付面積の増加に加え、天候に恵まれ病害の発生もなく生育は順調なことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。後続の茨城産は、9月中旬までの天候不順や大雨による浸水被害を受けた場合もあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 秋田産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるものの、青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、中旬以降下げ基調となり、現在平年並みとなっている価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。 	
		487.13	696 (143%)	467.01	673 (144%)	666 (143%)	467.01			
	はくさい	78.06	100 (128%)	56.81	81 (143%)	100 (176%)	40.32		<ul style="list-style-type: none"> 長野産は、病害の発生は見られないものの、最近降雨がなく生育にやや遅れが見られることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、9月中旬までの天候不順の影響により病害が見られたものの、現在の天候に恵まれていることもあり、平年並みの出荷の見込み。 長野産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくとともに、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。 	
		88.72	99 (112%)	69.44	81 (117%)	102 (147%)	55.95			
	ほうれんそう	583.95	711 (122%)	385.11	602 (156%)	506 (131%)	385.11		<ul style="list-style-type: none"> 群馬産及び茨城産は、9月中旬以降の天候に恵まれていることから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、9月中旬までの天候不順の影響により病害が見られたものの、現在は天候に恵まれていることもあり、生育は回復傾向で概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 群馬産、栃木産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みとなる見込み。 	
		670.86	777 (116%)	461.74	668 (145%)	605 (131%)	461.74			
	レタス (結球)	158.27	257 (162%)	158.27	279 (176%)	208 (131%)	143.63		<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、9月中旬までの天候不順の影響による生育の遅れから回復傾向となっているものの、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は最近の天候に恵まれていることから、平年並みの出荷の見込み。長野産は、終盤で10月末で切り上がる見込み。 茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みとなる見込み。 	
		152.57	285 (187%)	152.57	306 (201%)	215 (141%)	154.61			
果菜類	きゅうり	210.69	297 (141%)	262.75	256 (97%)	260 (99%)	262.75		<ul style="list-style-type: none"> 埼玉産は、9月中旬までの天候不順の影響は、最近の天候に恵まれ回復傾向であるものの、夜温が低く生育に遅れが生じていることもあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、9月中旬までの天候不順の影響により、病害が見られ生育はやや不良であるため、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。福島産は、最近の天候に恵まれているため、病害もなく生育は順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。後続の宮崎産は、定植後の天候に恵まれていることから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。 埼玉産及び群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、福島産及び宮崎産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。 	
		221.71	301 (136%)	284.72	261 (92%)	280 (98%)	284.72			
	トマト (大玉)	229.51	387 (169%)	315.83	431 (136%)	430 (136%)	315.83		<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、9月中旬までの天候不順の影響で着果不良があり、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、最近の天候に恵まれていることもあり、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、9月中旬までの天候不順の影響で草勢が弱いこともあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。福島産は、目立った病害もなく生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。青森産は、終盤を迎え、これまでの前進出荷の影響で残量が少なく、今後も引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 千葉産及び福島産の出荷が平年並みと見込まれるものの、茨城産及び青森産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年に近づくとともに、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。 	
		271.33	393 (145%)	337.88	415 (123%)	442 (131%)	337.88			
	なす	209.55	395 (188%)	301.00	325 (108%)	338 (112%)	301.00		<ul style="list-style-type: none"> 高知産は、定植前後の天候不順で生育に遅延が見られたものの、最近の天候に恵まれ着果も良好で病害の発生も特段ないことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産及び群馬産は、10月末で切り上がる見込み。後続の福岡産は、台風の影響で定植が遅れたことに加え、夜温が低く生育の停滞が見られ、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は最近の天候に恵まれていることから、生育は概ね順調で平年並みの出荷の見込み。 高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は引き続き平年並みに推移する見込み。 	
		221.72	374 (169%)	263.21	317 (120%)	326 (124%)	263.21			
	ピーマン	263.58	457 (173%)	263.58	347 (132%)	310 (118%)	378.83		<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、秋作は最近の夜温の低下により出荷は少なめとなっているが、越冬作は生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、現在平年よりやや少なめの出荷で、10月末で切り上がる見込み。後続の宮崎産は、最近の天候に恵まれ、病害の発生もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産及び宮崎産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みとなる見込み。 	
		282.16	459 (163%)	282.16	347 (123%)	328 (116%)	371.29			
	根菜類	だいこん	94.60	105 (111%)	67.55	97 (144%)	85 (126%)	67.55		<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、出荷の終盤期を迎えているが、最近の天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。青森産は、特段目立った病害もなく、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。後続の千葉産は、播種期の降雨により作業が遅れたことに加え、9月下旬からの低温により生育に遅れが見られることから、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は最近の天候に恵まれていることもあり、平年並みの出荷の見込み。 北海道産、青森産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みとなる見込み。
			100.39	103 (103%)	76.48	95 (124%)	94 (123%)	76.48		
		にんじん	123.08	131 (106%)	123.08	108 (88%)	107 (87%)	105.86		<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、最近の天候に恵まれ生育は順調であることから、現在は平年をやや上回る出荷となっているが、今後は出荷の終盤期ということもあり、平年並みの出荷の見込み。後続の千葉産は、9月中旬までの天候不順の影響で生育に遅れが見られ、小ぶり傾向であるものの、平年並みの出荷の見込み。出荷は10月末から順次開始される見込み。 北海道産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、平年並みとなる見込み。
	123.11		122 (99%)	123.11	103 (84%)	104 (84%)	104.49			

種 類	9月の価格情報		10月の価格情報			11月	生育及び価格の11月上旬までの見通し		
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額				
いも類	さといも	242.66	316	220.97	298	284	220.97		・埼玉産は、天候に恵まれ、病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、最近の天候に恵まれていることから、収穫作業は順調に行われ、現在平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・埼玉産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みとなる見込み。
		(130%)	(135%)	(129%)					
	220.11	322	217.56	286	277	217.56			
	(146%)	(131%)	(127%)						
ばれいしょ	101.61	108	96.99	103	101	96.99		・北海道産は、天候に恵まれ生育が順調だったことから豊作傾向となっており、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年を下回って推移する見込み。	
	(106%)	(106%)	(104%)						
	101.61	102	96.99	95	94	96.99		・入荷量：3.503t ・主産地：北海道(100)	
	(100%)	(98%)	(97%)						

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
 5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込(さといもは前年実績)、近畿は前年実績。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
 7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額の一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

種 類	9月の価格情報		10月の価格情報			11月	生育及び価格の11月上旬までの見通し		
	(参考) 過去5カ年平均価格	東京・大阪市場の旬別価格	(参考) 過去5カ年平均価格	東京・大阪市場の旬別価格	東京・大阪市場の旬別価格				
葉菜類	ブロッコリー	441.00	520	358.00	542	510	282.00		・埼玉産は、最近の夜温が低いため生育が遅れが見られ、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。長野産は終盤を迎え10月末で切り上げの見込み。後続の群馬産は、生育期の天候に恵まれたことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・埼玉産及び群馬産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		(118%)	(151%)	(142%)					
	439.00	514	387.00	548	542	367.00		・入荷量：2.087t ・主産地：埼玉(28)、北海道(24)、長野(12)、輸入(7)、栃木(6)、愛知(5)	
	(117%)	(142%)	(140%)						
根菜類	ごぼう	253.00	262	226.00	250	254	210.00		・青森産は、天候に恵まれ病害の発生もなく生育は順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みとなる見込み。
		(104%)	(111%)	(112%)					
	164.00	204	154.00	201	189	157.00		・入荷量：1.140t ・主産地：青森(75)、茨城(10)、北海道(4)	
	(124%)	(131%)	(123%)						

注：1 平均価格は、過去5年間(平成22年から26年)の東京及び大阪市中央卸売市場の価格。
 2 旬別価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の80%)を下回るもの(消費税は除く)。
 3 単位は円/kg、上段は東京中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場である。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
 5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、8月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4.240gで前年比98%、購入金額は、1,998円で同115%となった。
 また、小売物価統計によると、9月のキャベツの小売価格は、221円で過去5カ年平均比140%、トマトは、781円で同114%、だいこんは、204円で同110%、ばれいしょは、343円で同106%となり、各品目で過去5カ年を上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5カ年平均		平成26年		平成27年	
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	1,755
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	1,761
3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	1,939
4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	1,870
5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	1,925
6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	1,957
7月	4,402	1,737	4,542	1,770	4,353	1,966
8月	4,315	1,731	4,275	1,846	4,240	1,998
9月	4,688	1,844	4,745	2,035		
10月	5,191	1,902	5,455	1,973		
11月	4,990	1,700	5,291	1,704		
12月	5,146	1,927	5,233	1,977		

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
 注：過去5カ年平均は、平成22～26年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)

	キャベツ		トマト		だいこん		ばれいしょ	
	平成27年	前年比(%)	平成27年	前年比(%)	平成27年	前年比(%)	平成27年	前年比(%)
1月	229	108	663	99	154	102	313	99
2月	202	91	696	107	170	100	316	100
3月	169	82	766	109	157	91	324	102
4月	255	105	747	106	192	110	358	106
5月	273	168	702	114	212	138	409	114
6月	188	137	648	116	160	107	443	126
7月	167	104	608	105	188	116	474	144
8月	188	136	593	102	199	122	437	134
9月	221	140	781	114	204	110	343	106
10月								
11月								
12月								

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
 注：1 過去5カ年平均は、平成22～26年の平均。
 2 平成27年9月の値は、9月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

9月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比94%(中国は同101%、米国は同35%)の2万5千トン、にんじんは、同119%(中国は同118%、オーストラリアは同564%)の7千9百トン、ねぎは、122%(中国は同122%)の5千6百トンとなった。たまねぎは前年を下回ったものの、にんじん、ねぎは前年を上回った。

野菜の輸入数量

区分	平成25年		平成26年		平成27年1月～8月		平成27年8月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	854,420	90	884,735	104	590,571	92	53,975	95
加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	1,180,998	96	141,005	100
野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99	1,771,569	95	194,979	99
うち中国産野菜合計	1,416,557	97	1,409,604	100	891,552	95	104,414	96
中国産シェア	52		53		50		54	

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料：財務省「貿易統計」)

主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	(単位：トン、%)		
		平成26年9月(A)	平成27年9月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	26,276	24,676	94
	中国	23,903	24,085	101
	米国	1,662	579	35
にんじん	合計	6,586	7,859	119
	中国	6,537	7,742	118
	オーストラリア	14	79	564
ねぎ	合計	4,617	5,621	122
	中国	4,614	5,619	122

資料：農林水産省「植物防疫統計」
 注：1 平成27年9月は速報値。
 注：2 輸入数量は、検査数量である。
 注：3 冷凍を除く。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
 ◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
 ★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。
 ※無断転載禁止。レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。